

学生と企業の協働によるオープンイノベーションの創発

慶應義塾大学清水たくみ研究会は、ICTを活用した利便性や快適性の向上と推進、交流人口・関係人口創出、未来社会を先導する人材育成のための政策推進に資する取組について津山市と共同研究を行っています。

令和4年度の取組として、市内で2回のフィールドワークを実施し政策提案をしました。

フィールドワーク実施を通じて、津山市が典型的な地方都市なのではなく、革新的な技術や資源を有しており、大きな可能性を秘めていることを実感しました。一方で、津山市の有する先進的な特徴が市外はおろか市内においても十分認知されていない実態もうかがえました。



第1回フィールドワーク調査報告会



第2回フィールドワーク

本共同研究が捉える津山市における課題とその要因

本共同研究は、進学や就職を理由に市外に出た若年層がそのまま市外に定着/定住することによる、**津山市における継続的な人口の流出**に着目した。課題解決のアプローチとしては、①**流出数の減少**②**美作地域出身者を中心とした関係人口の創出**が挙げられる。

流出が止まらない要因としては、津山市や市内企業が有する**技術力や資源**といった**財産**や、市内で得られる**多様な機会**が**広く認知されていない**点が指摘できる。

関係人口の創出に向けては、市内外を行き来するといった、定住を伴わない形での地域貢献の可能性を拡大する必要がある。施設/設備は整備されているものの、現状の課題として、**市外からの来訪者の利用が限定的**である点と、**市内在住者にとって需要が限定的**である点の二点が挙げられる。

学生と企業の協働によるオープンイノベーションの創発

学生と域内企業の協働を増やしコミュニティ化することで、企業認知や事業・創業への意識向上を支援し、域内就職や起業につなげる

本共同研究が実現を目指すオープンイノベーション施策

1. 地域への関心や創業意欲の顕在化



2. 地域に対する興味・関心の追求



3. 地域と繋がり続けるコミュニティの形成

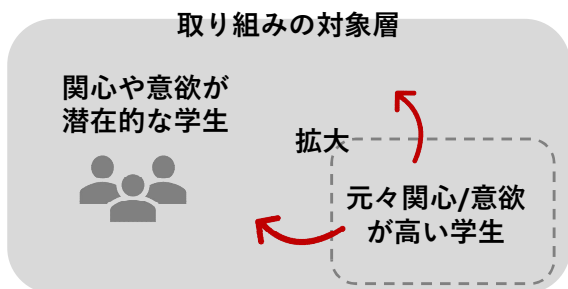
現状

既存の地域活性を目的としたコミュニティや起業家学校には、地域や創業に強い関心を持ち、意欲的に参加できる学生のみが参加している。一方でそういった取り組みに参加できていない**地域への関心や創業意欲が顕在化していない層も存在している。**

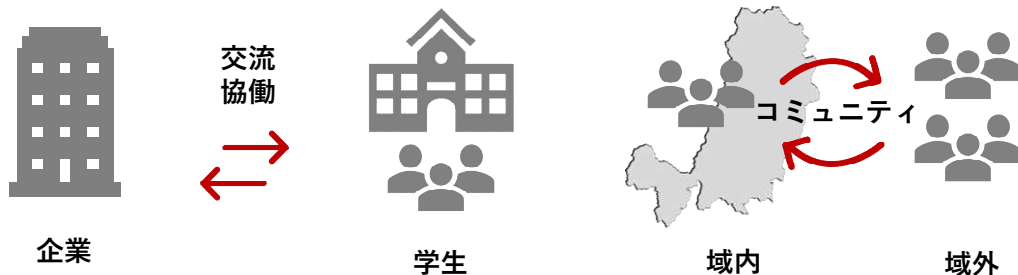
地域や創業に関する既存の取り組みでは、**学生と域内企業の交流や協働の機会が十分には存在しない。**そのため、域内就職を視野に入れづらく、津山市の企業が持つ技術や産業を生かした創業の件数も少ない。

既存の地域活性や創業の取り組みでは、一度関わった人達がOB/OGとして取り組みに関わり続けられる**持続的な仕組みづくり**が一部目指されている。しかし取り組みは限定的で、域外にも開かれたものは多くない。

施策提案



地域への関心の度合いを問わず気軽に参加できる取り組みを通して、域内企業や事業／創業に関心や意欲を持つ学生層を拡大する。出張授業・展示会・ワークショップ・コンテストなど幅広く具体施策を検討し、学生が企業と協働してキャリアや事業についてより深く考える機会+同じ志を持つ仲間とつながるきっかけを提供。



域内企業や創業に興味を持った学生が、その興味関心を深く追求できる機会を創出する。例えば、域内企業と学生が協働する事業コンテストを実施。学生はより深く地域や域内企業を知り、事業意欲やスキルを高めるとともに、企業は新たな視点で事業を展開するきっかけを得る。

形成された新たな繋がりや事業／企業への関心を元に、デジタル技術も活用してコミュニティを持続・拡大する。域外に出たコミュニティメンバーが津山市と継続的に繋がる仕組みを、オンライン・オフラインを組み合わせて実現する。